

支所区民交流スペース

～開設から3年目を迎えました！～

区民の方が気軽に利用できる「区民交流スペース」を、支所1階ロビーに開設しています。ぜひお立ち寄りください。

◆喫茶コーナー

ゆったりとお茶を飲みながら交流できるスペース。就労支援のため、障害のある方が接客を担当。区内の福祉施設で作製した授産品も販売。

時 毎週月・火・木曜 午前11時～午後2時

問 らくさいけあーねっと「たんぼぼハウス」(☎333・5802)

◆高齢者お悩み相談

高齢者やその家族の支援のための、悩み相談の窓口を設置。電話相談も受付。

時 毎週月・火・木曜 午前11時～正午

問 高齢サポート沓掛(☎335・2201)、高齢サポート境谷(☎331・8781)

◆情報掲示板

地域の住民の方による子育て、文化、住民交流、環境などのまちづくり活動をPRできる掲示板及び配架スペース。掲示方法等については、問まで。

問 支所総務・防災担当(☎332・9185)



★ふれあいステージ
保育園児や中学生、ボランティアなどによる歌や演奏等

★福祉体験、防災体験コーナー
障害のある方との交流を通じた点字ゲームなどの福祉体験等

★配食弁当の試食販売、喫茶コーナー

★展示コーナー
ボランティアグループ等による福祉活動紹介や、児童等の作品展示

★大抽選会

¥無料

問 区社会福祉協議会(☎394・5711)

西京・福祉フェスタ2015

「みて・きいて・ふれあって なたたかいまちづくり」

区内の福祉団体等による舞台発表、福祉体験などを通じ、福祉活動の輪が広がることを目的としたイベントを開催します。

3月7日(土)
午後0時30分～3時

ホテル京都エミナース

★ふれあいステージ
保育園児や中学生、ボランティアなどによる歌や演奏等

★福祉体験、防災体験コーナー
障害のある方との交流を通じた点字ゲームなどの福祉体験等

★配食弁当の試食販売、喫茶コーナー

★展示コーナー
ボランティアグループ等による福祉活動紹介や、児童等の作品展示

★大抽選会

¥無料

問 区社会福祉協議会(☎394・5711)

大原野森林公園だより 26

今月の野鳥 ルリビタキ (ツグミ科)

見ごろ 1～3月 ▶ ▲いずれも成鳥の雄

豆知識 スズメぐらいの大きさのかわいらしい小鳥で、ハゼやヌルデの実が好物。背中側は、成鳥の雄は青色、若い雄と雌は緑褐色で、脇・腹面は、雌雄ともにそれぞれ橙・白色である。成鳥の雄は、色のコントラストが特に美しい。

ホームページ 大原野公園 検索

問 北部みどり管理事務所(☎382・7019)

大原野 里山ウォーキングを開催

豊かな自然が広がる大原野森林公園へのウォーキングを行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

時 3月15日(日) 午前8時45分集合、午後3時30分帰着予定

！雨天中止

集合・解散場所 大原野小グラウンド(往復16km)

コース 大原野小→金蔵寺→森林公園(山林消火放水訓練コース)

練見学、昼食、散策) 金蔵寺→大原野小

¥無料申当日、直接会場へ要弁当、水筒、敷物等 ※温かい豚汁をご用意しています！

問 大原野森林公園運営管理協会(☎332・6444)

「市政協力委員」の協力の下、より良いまちづくりを進めています

市政協力委員には、市民の皆さんと市政・区政のつなぎ手として、市民しんぶんや選挙公報の配布、市政広報ポスターの掲示や、地域住民からの意見、要望の伝達など、重要な役割を担っていただいています。今後とも、委員の活動に皆様のご理解、ご協力をお願いします。

問 市地域自治推進室(☎222・3049)、区役所まちづくり推進担当(☎381・7197)、支所まちづくり推進担当(☎332・9318)

生ごみの減量の決め手は3キリ!

市では、食材を使い切る「使いキリ」、食べ残しをしない「食べキリ」、ごみを出す前に水を切る「水キリ」の3つの「キリ」を合言葉に生ごみを減量する「生ごみ3キリ運動」を推進しています。

使キリ 買すぎない、買ったものは使いキリ!

食キリ もったいない! とにかく食べキリ!

水キリ スリムに水キリ!

3キリ運動などごみ減量を分かりやすく紹介した「減らして得する!ごみ減量入門書」を問で配布し、ホームページでも掲載しています。

問 西京エコまちステーション(☎366・0192)、洛西エコまちステーション(☎366・0194)

西京建物・庭園探訪 第五回 郷倉(榎原)

西京区内で「京都を彩る建物や庭園」に選定された建物等を紹介します。

郷倉の概要

江戸時代、年貢米の保管や凶作に備える貯穀のため、郷村に設置された共同の倉庫。榎原の郷倉は、平倉は、安京遷都後、榎原など周辺十二郷に設けられた年貢米等を収蔵する倉が起源といわれている。榎原は山陰街道を結ぶの物資集積地で、米等の集積場として大いに活用された。建物は、切妻屋根、棧瓦葺き、平入りの平屋建てで、間口、奥行き共に二間半。外壁はおおむね白く塗りあげられている。他の地域の郷倉が失われた今、市内に唯一現存する貴重なものである。

管理者の三ノ宮神社 宮司さんにお聞きしました。

—建物の特徴は?—
火事による延焼を防ぐため、軒裏の鼻母屋※、垂木※までしっかりと塗り込められています。外壁がかなり傷んでいたため、20年前、古い写真を元にしっかりと塗り直しました。農機具等の倉庫として使

—今後の活用や管理は?—
榎原の歴史と共に、この郷倉も地域の財産として、きれいな形で保存していきたいですね。大学関係者等が見学に訪れることがあります。靴の裏に白アリの卵等が付いている恐れもあるので、中に入るときは履物を変えてもらっています。今後も郷倉を、次の世代へ引き継ぐことができるよう管理していければと思います。

—聞き手・文化財マネージャー 風月 匠幹廣(なかづき けんこう) ほか—

西京区榎原宇治井西町1

「京都を彩る建物や庭園」への皆さんの推薦をお待ちしています。詳しくは市文化財保護課(☎366・1498)又はホームページまで。

問 京都を彩る 検索